

川とのふれあいを体験しよう！

H27.11.27

～上下流地域連携～「日帰り留学」(平成27年度 第2回)を実施

—真名川ダム・九頭竜ダム水源地域ビジョン—

九頭竜川ダム統合管理事務所

今年度第2回「日帰り留学」を11月7日(土)に九頭竜川下流域(九頭竜川流域防災センター(吉田郡永平寺町)及び九頭竜川河口付近(坂井市三国町)等)において実施しました。(今年度第1回は、8月22日(土)に麻那姫湖青少年旅行村(中島公園:大野市)にて実施。)

「日帰り留学」とは、上下流地域の子ども達(親子)に短期留学をしてもらい、山林・里山・田園地域での自然体験等を通して上下流地域間の交流と連携の強化、防災意識の向上を目的とした行事(福井豪雨から10年の節目となる平成26年より「水源地域ビジョン」の取り組みの一環として実施。)で、今回は上流地域(大野市内)から約10人の子ども達(親子)に参加していただきました。上流域の子ども達にとっては、普段なかなか体験することの出来ない下流域での自然体験等を通しての交流は、連携強化の促進ならびに人材育成の貴重な場となりました。

◇施設見学:九頭竜川流域防災センター(吉田郡永平寺町)

鳴鹿大堰の構造や機能・役割、九頭竜川の治水・利水・環境及び歴史等について、見て・触れて、わかりやすい展示や説明などで、体験的に楽しく学びました。



◇上流域(大野市)から下流域会場への移動は、九頭竜川に沿ってバスで走行し、川幅や勾配・流速等の変化に伴う石の大きさや形の違いなどを見ることで、川全体の構造や水の流れがもつ力の凄さを感じていただきました。

◇九頭竜川流域防災センターの施設見学では、普段身近にある川が人と深く関わっていることや防災に関することなどを学ぶことで、あらためて川や水、防災の大切さ等を再認識していただきました。

◇遊覧船による九頭竜川河口付近見学では、船上から河口右岸に建設され「防波兼導流」の機能果たしている三国港突堤(通称:エッセル堤)を間近で見たり、日本海の荒波を体で感じることで、自然が持つ威力と三国港突堤(通称:エッセル堤)が防波(兼導流)堤の効果を発揮していることを実感することで、川と海との関わり学ぶとともに自然に対する脅威や防災の大切さ等を再認識していただきました。

◇川についての学習では、防災や川などにまつわることがらについてクイズ形式で学習しました。

◇遊覧船による見学:九頭竜川河口付近(坂井市三国町)

船上から九頭竜川河口付近や河口右岸に建設され、「防波堤」に「導流堤」の機能を兼ね備えた三国港突堤(通称:エッセル堤)や東尋坊などを間近で見学しました。船上から眺める景色は絶景でした。



◇川についての学習:坂井市三国町内

一日を通して自分の目で直接見て学んだ内容や展示パネルをヒントにクイズ形式で、防災や川などについて学びました。最後に参加した子ども達全員に修了証書をお渡ししました。



【問い合わせ先】



国土交通省 近畿地方整備局

九頭竜川ダム統合管理事務所 管理課

〒912-0021 大野市中野29-28 TEL 0779-66-5300(代)